

岡山県 地域連携・多職種協働周術期管理モデル普及事業公開セミナー
「こわくない手術の痛み 準備と工夫でのりこえましょう」

日 時：2023年2月18日（土）13:00～14:30

開催形式：Zoom ウェビナー

講演 1	「手術と痛み」 岡山大学病院 集中治療部 助教 松岡 義和
講演 2	「チームで行う術後疼痛管理」 岡山大学病院 手術部 手術看護認定看護師 松村 真千子
講演 3	「手術前禁煙のすすめ」 岡山大学病院 周術期管理センター 看護師 市川 あい



岡山県 地域連携・多職種協働周術期管理モデル普及事業公開セミナーを開催いたしました。

テーマは「こわくない手術の痛み 準備と工夫でのりこえましょう」でした。

始めに、岡山大学病院集中治療部 松岡義和助教より「手術と痛み」と題して、講演が行われました。術後の痛みの経過や痛みの強さによる影響、岡山大学病院での取り組みとして、外来診察の流れ、麻酔科による痛み止め、PCA 等について述べられました。痛み止めを積極的に使用し、術後早期から離床することにより合併症を減らし、寝たきりなどの QOL 低下を防止することが大切であるとのことでした。

続いて、岡山大学病院手術部 松村真千子手術看護認定看護師より「チームで行う術後疼痛管理」と題して、講演が行われました。術前看護面談と説明、術後疼痛管理の変遷（術後疼痛管理方法）、術後疼痛管理の種類（PCEA、PCA、その他）、現在の術後疼痛管理方法、チームでの活動・確認内容、痛みの評価

方法とコントロールの目標について述べられ、今後手術を受ける患者さんが安心して手術を受けることができるような痛みの調整方法があることが説明されました。また、医療従事者については、術後疼痛ラウンドでどのような確認を行っているか、医療従事者が注意すること、術後疼痛ラウンドで実施した麻酔や看護についてチームで評価を行い、改善を行っていることも述べられました。

最後に、岡山大学病院周術期管理センター 市川あい看護師より「手術前禁煙のすすめ」と題して、講演が行われました。手術の痛みと喫煙の関係、手術前に必要な禁煙、禁煙の方法について述べられ、喫煙者は術後の痛みに敏感であったり、薬が効きにくい傾向にあること、禁煙で得られる効果、早期から禁煙を始めることが大切なこと、そのために出来る工夫や方法、禁煙外来について述べられました。参加者は 27 名でした。



<参加者内訳>

